

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あらいぶ		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ～ 令和7年 4月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ～ 令和7年 4月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所への満足度が高い アンケートでも安心して通所している、楽しみにしている、支援に満足しているとの回答が多くあった。	・本人の興味関心のあることを見つけていけるように、日々異なるレクリエーションを実施しております。長期休暇や祝日などには天王寺動物園やお花見に行き、様々な経験もでき楽しめる機会を設けております。	・引き続き様々な経験や楽しみを感じることができるようにレクリエーションの幅を広げていき支援にあたります。また、日々の関わりの中でも本人の好きなこと楽しいことを見つけていきます。
2	・個別での課題を実施し一人ひとりに合わせた支援を実施している 支援プログラムを職員全体で意見交換しながら作成し、情報共有をしております。	・個別療育の時間を設けており、一人ひとりに合わせたプログラムを実施しています。事業所の構造が民家風であることも活かしプログラム内容に掃除や食器洗いなど家庭での活動にも繋げることができる事や生きる力を伸ばすプログラムも一部取り入れております。	・実施していく中で一人ひとりの出来ることや難しいことをより把握していく。把握した上で課題の種類を増やしていき、より生きる力を伸ばせるように支援していく。
3	・保護者への説明にも力を入れている 本人の日々の様子はもちろん、事業所で実施している内容などについても情報伝達があると評価いただけた。	・送迎の際に1日の様子をお伝えしたり、連絡ノートを活用しその日の状況を伝達している。 ・ラインなどで活動の様子や写真も送り、本人がどのように楽しめているかを見ていただく。	・SNSを活用し、事業所の情報や取り組み、本人の様子をよりわかりやすく保護者様にもお伝えしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会や保護者会の開催などが実施できていない	・開所が令和7年2月であり、時間が経っていないこともあり、まずは日々の支援の充実を中心に動いているため。	・保護者様のニーズの把握（開催などを望まれているか？どのような内容の交流を行いたいかなどを知ること）
2	・非常時の対応を定めているが、保護者様への周知が不十分	・説明機会が契約時にしか取れていないこと ・周知する場所や機会が限られている	・HPやSNSを活用し、非常時の対応などの情報も周知していく
3			